学校番号	T4001

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	（学）教養数学	単位数	２単位	年次	１～４
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では、基礎学力の確かな定着と生涯学習の観点から数学・算数検定の合格を目標の一つとして個人で学習計画を立てながら学習を進めていきます。また、就職試験や大学等への入学試験に数学が必要な生徒や、数学に興味を持ち、自ら探究的活動を通して数学的なものの見方や考え方を育もうとする生徒も同様に個人で学習計画を立てながら学習を進めていきます。したがって、自分の目的に応じて問題演習を行ったり、探究的活動を通して興味のある分野や日常生活を数学的に捉えて問題の解決法を考えるなど、生徒の必要性や興味に応じて授業を個別に展開していきます。自分のやりたいことを明確にしておくことが大切になるので、どのように数学の学習活動に取り組んでいくのかを考えて受講するようにして下さい。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
自ら設定した課題に探究的に取り組むことを通して、数学の基本的な概念や原理・法則を体系的に深く理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けることができる。
【思考力、判断力、表現力等】
自ら設定した課題に探究的に取り組むことを通して、事象を論理的に考察したり、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり、問題解決の過程や結果を批判的に考察することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
自ら設定した課題に探究的に取り組むことを通して、生涯に渡り数学を学び続ける態度を身に付けるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感しながら粘り強く考え、数学を社会や身の回りの事柄に活かそうすることができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基礎的な概念や原理・法則などを理解している。また，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数の性質や計算について考察したり，文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力，図形の構成要素の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，その特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとしたり，問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたり，多様な考えを認め，よりよく問題解決しようとしたりしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4〜8	生徒により異なる	・個別に過去問等を中心とした検定試験や就職試験、入学試験の問題演習を行う。必要に応じて分野別の講義や演習を行う。 ・学習を深めたい分野または社会や日常の事象の課題を数学化し、数学的論拠に基づいて課題解決に取り組む。	a: ・基礎的な公式や原理を理解することができる。 ・過去問等や授業プリントで基礎的な問題を解くことができる。 ・事象を数学的に捉え、問題を見出すことができる。 ・問題を数学的に表現・処理することができる。 b: ・数学的論拠に基づいて、問題解決に取り組むことができる。 ・問題解決の課程を振り返って、統合・発展・体系的に考察することができる。 ・問題を多面的に捉え、解決に活かすことができる。 c: ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え, 数学を生活や学習に生かそうとしたりすることができる。 ・問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりするなどして、学習を調整することができる。	・小テスト ・授業プリント ・定期考査 ・パフォーマンス課題	・授業プリント ・定期考査 ・パフォーマンス課題	・授業プリント ・パフォーマンス課題 ・振り返りシート ・観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度